

日本機械学会
2019年度
年次大会

次は秋田だ!

大会テーマ

「サステナビリティ」「AI 社会の機械工学」
「少子高齢化・人手不足を支えるテクノロジー」

🐾 開催日 🐾 2019年9月8日(日)～11日(水)

🐾 開催場所 🐾 秋田大学 手形キャンパス



本大会の事前参加登録の受付が6月中旬より開始されます。

事前登録締切日は、8月19日(月)です。

本大会ホームページ (<https://www.jsme.or.jp/conference/nenji2019/index.html>) より
ご登録をお願いします。

大会期間中は、秋田市内で複数のイベントが開催されますので、
宿泊予約もお早めに!

宿泊施設などの情報は、以下のサイトをぜひご利用下さい。



< 宿泊施設情報 >

※秋田大学 手形キャンパスへは、
秋田中央エリア・秋田駅周辺の宿泊が便利です。

あきたファンドットコム

<https://www.akitafan.com/>

秋田市観光・イベント情報総合サイト
「アキタッチ+ (プラス)」

<https://www.akita-yulala.jp/>

秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合
秋田支部

<http://www.akita-yado.jp/>

— 秋田に集うしただげおもしろえ技術 —



学生によるポスターセッションを実施



学生の皆さんに多くの人との充実した討論をしていただくため、学生の発表は原則としてポスターセッションとします。ただし、口頭発表セッションでの3分間のショートプレゼンテーションとのセットです。学生のショートプレゼンテーションを聞いてから皆でポスター会場に移動することを想定しています。現在、右図のように口頭発表とポスターセッションの時間帯を別けたプログラムを編成中です。

多くの年次大会参加者にポスター会場へ足を運んでいただき、ポスターの前で熱い討論が繰り広げられることを期待しています。

	9/9 (月)	9/10 (火)	9/11 (水)
9:00 - 10:30	口頭発表 ショートプレゼン	口頭発表 ショートプレゼン	口頭発表 ショートプレゼン
10:30 - 12:00	ポスターセッション	ポスターセッション	ポスターセッション
13:30 - 15:00	口頭発表 ショートプレゼン	口頭発表	口頭発表 ショートプレゼン
15:00 - 16:30	ポスターセッション	特別講演	ポスターセッション

チュートリアル「機械技術を変えるデータサイエンスのインパクト」を実施

本年次大会の大会テーマのひとつである「AI 社会の機械工学」に関連する先端事例を聴いてみませんか。年次大会参加登録者は格安で聴講できます。

日時 2019年9月8日(日) 13:00 - 18:10
 定員 60名(会員資格不問) 先着順
 聴講料 3,000円(年次大会参加登録者)、20,000円(非登録者)
 企画部門 理事会・関東支部



【概要】

AI、IoTの進展により、これまで不可能であったことが可能となり、価値のなかったものに大きな価値が生じたりしている。このような機械技術を取り巻く環境の不連続的な変化の中で、「機械」の可能性も大きく拡がろうとしている。データサイエンスにより大きく変わりつつある機械技術の最先端の取り組みについて事例を中心に紹介する。

【プログラム】(以下の内容は変更される場合があります)

- 13:00 - 14:00 「ビッグデータの動向～データ駆動システムへの移行～」
国立情報学研究所 佐藤一郎氏
- 14:00 - 15:00 「人とAIを繋げる機械機構の可能性」
慶応義塾大学 今井倫太氏
- 15:00 - 16:00 「機器 /IoTの融合が拓く新しい世界の可能性と取組み」
日立製作所 奥野道貴氏
- 16:00 - 16:10 一休憩
- 16:10 - 17:10 「ビッグデータを活用した故障予兆監視システムの開発」
日本電気 山本敬之氏
- 17:10 - 18:10 「IoT・AIを活用した次世代のものづくり」
三菱電機 大谷治之氏

問い合わせ先: tutorial19@jsme.or.jp

特別講演 2019年9月10日(火)

「イノベーション:風が吹けば桶屋が儲かる」

(株)豊田中央研究所 代表取締役所長 菊池昇

<概要>

研究においても産官学でイノベーションが求められるようになって久しい。とはいっても社会に受容されるイノベーションにつながる研究は難しい。この難題に米国の大学で研究していた時も、また日本の大きな企業研究所のマネジメントをやっている今も取り組んでいるが、未だ成功したことがない。ここでは、失敗に終わった多くの研究を振り返りながら、イノベーションに繋がる可能性がある研究はどのようなモノかについて、自動車業界にまつわる機械工学に関する領域を中心に述べたい。



「吟醸酒のふるさと秋田の魅力を探る」

新政酒造(株) 代表取締役社長 佐藤祐輔

<概要>

広大な平野と良質な水、そして寒造りに適した気候に恵まれた秋田は、まさに酒造りの聖地である。現在の日本酒の基本的製法である「吟醸造り」は、秋田にて完成された手法と言える。「吟醸造り」は、清酒酵母の発見によって完成されたと言えるが、その中でも秋田の新政酒造において90年前に発見された「きょうかい6号酵母」によって低温発酵が可能になったことは、特に大きな技術的躍進であった。本講演では、秋田の日本酒に関する歴史的な背景を紹介しながら、秋田の酒の魅力や嗜み方を紹介する。

